

# SJクイズ

[問題編]



Q1

平成25年の自転車乗用中の交通事故死傷者数を年齢層別にみると、最も多いのは次のうちのどの年齢層でしょう？

- ① 15歳以下    ② 16～24歳    ③ 40～49歳    ④ 65歳以上

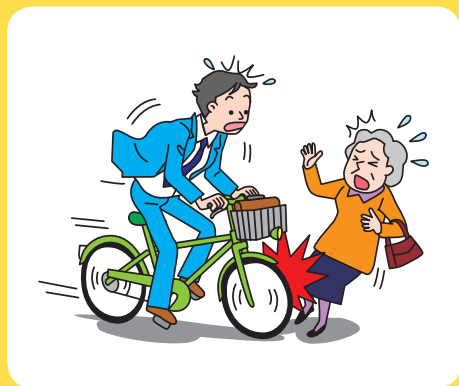
Q2

中学生年代にあたる13～15歳の交通事故死傷者数は1万5579人（平成25年）ですが、このうち自転車乗用中に死傷した割合は何％でしょう？

- ① 約33%    ② 約44%    ③ 約55%    ④ 約66%

Q3

平成25年の自転車関連事故件数（自転車が第1当事者又は第2当事者となった交通事故件数）は10年前と比べ66%減少しましたが、対歩行者の事故件数は10年前と比べ、どのような状況でしょう？



- ① 減少した    ② ほぼ変わっていない    ③ 増加した

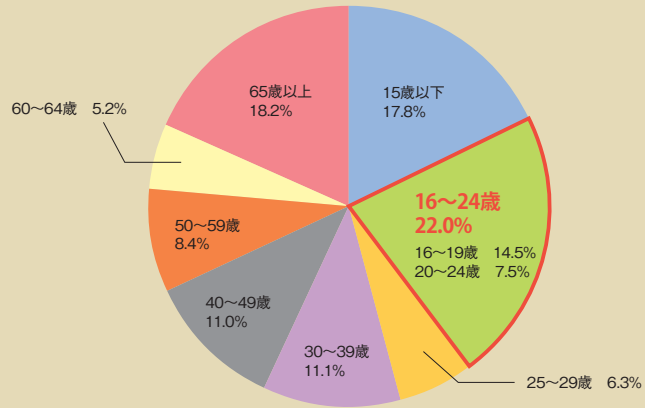
**【使用上の注意】**

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

**Q 1** 解答 ② 16～24歳

<解説>

自転車乗用中の交通事故死傷者数（12万529人）を年齢層別にみると、最も多いのは16～24歳（22.0%）で、次いで65歳以上（18.2%）、15歳以下（17.9%）と続く。16～24歳のうちの7割近くは、高校生年代にあたる16～19歳である。自転車乗用中の交通事故死傷者数を低減させるためには、若年層への更なる自転車教育の充実が必要である。

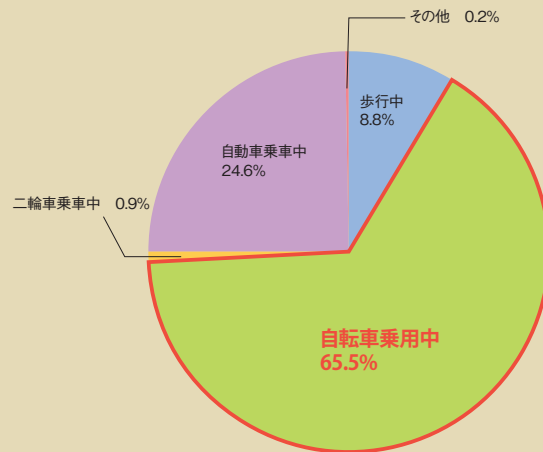


●自転車乗用中の年齢層別死傷者数（平成25年中・構成率）

**Q 2** 解答 ④ 約66%

<解説>

平成25年の13～15歳の交通事故死傷者数は1万5579人のうち自転車乗用中に死傷したのは1万210人と65.5%を占める。年齢別での自転車乗用中の割合は13歳の60.9%から年齢が上がることに増加し、15歳では72.4%となっている。このように、自転車乗用中に事故に遭う割合が高いのが中学生年代の特徴といえるだろう。中学生年代は通学での利用など自転車に乗る機会が増えるので、中学校入学段階から継続的な自転車教育を学校や地域が行っていくことが重要である。



●13～15歳の状態別死傷者数（平成25年・構成率）

**Q 3** 解答 ③ 増加した

<解説>

平成25年の自転車関連事故件数のうち、自転車対歩行者の事故件数2605件と前年より減少しているものの、10年前（平成15年・2276件）と比べると1.14倍増加した。自転車は車両として位置づけられているので、自転車利用者もドライバーやライダーと同じように歩行者保護に努めなければならない。特に歩道を走行する時は、歩行者が優先であることを忘れず、通行を妨げたり、脅威とならないよう速度を控えて走行するなど、思いやりの心を持って運転することが大切である。

※文中のデータ、グラフの出典は警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736